

# 2018年度決算概要 及び2019年度業績予想

---

2019/5/9

 **住友重機械工業株式会社**  
社長 下村 真司

# INDEX

**01** 2018年度決算概要

**02** 2019年度業績予想

**03** 「中期経営計画2019」進捗

# 01 2018年度決算概要

# 01 2018年度 業績サマリー

単位：億円

## ■ ポイント

### (1) 受注高

- ・ 過去最高の受注を達成。
- ・ 船舶を除き前年同期比増加。
- ・ 建設機械、環境プラントが好調。
- ・ 機械コンポーネント、環境プラントでM&Aによる新規連結化も寄与。

### (2) 売上高

- ・ 過去最高の売上を達成。
- ・ すべてのセグメントで前年同期比増収。
- ・ 受注高と同様に、建設機械、環境プラントが好調。  
また、新規連結化も寄与。

### (3) 営業利益

- ・ 建設機械、環境プラントが大きく牽引。
- ・ 機械コンポーネント、精密機械は減益。

### (4) 親会社株主純利益 過去最高を達成。

	2017	2018	増減
受注高	8,640	9,522	882
売上高	7,910	9,031	1,120
営業利益	699	752	53
営業利益率	8.8%	8.3%	△0.5%
経常利益	675	726	52
経常利益率	8.5%	8.0%	△0.5%
特別損益	△148	△56	92
税金等調整前 当期純利益	527	671	144
親会社株主純利益	347	457	110
親会社株主純利益率	4.4%	5.1%	0.7%
為替レート(ドル)	¥112	¥111	△¥1

# 01 セグメント別営業利益

単位：億円

## ■ 対前期比較

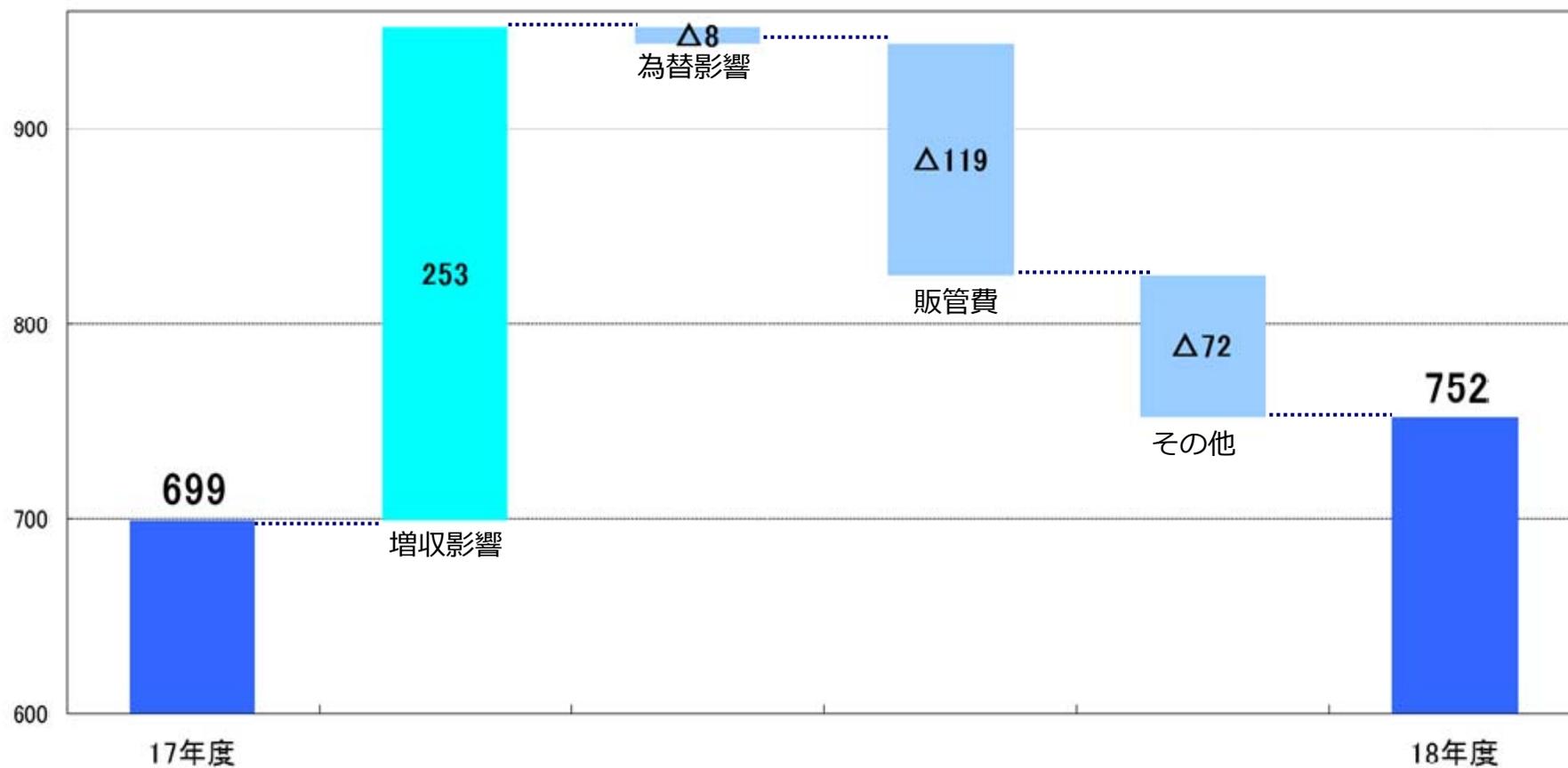
	2017	2018	増減
<b>&lt;機械コンポーネント&gt;</b> 中小型の減変速機の好調、新規連結(ラファート社)で売上増も、投資費用負担等あり減益。	<b>118</b>	<b>111</b>	<b>△8</b>
<b>&lt;精密機械&gt;</b> プラスチック機械は売上増により増益。 一方、半導体関連は機種構成差により減益。	<b>195</b>	<b>177</b>	<b>△18</b>
<b>&lt;建設機械&gt;</b> 油圧ショベル、建設用クレーンともに市況が好調であったことにより大幅増益。	<b>174</b>	<b>220</b>	<b>45</b>
<b>&lt;産業機械&gt;</b> 運搬機械他が堅調で小幅増益。	<b>88</b>	<b>90</b>	<b>1</b>
<b>&lt;船舶&gt;</b> 船舶市況低迷により低い水準ながらも増益。	<b>7</b>	<b>8</b>	<b>1</b>
<b>&lt;環境・プラント&gt;</b> エネルギープラント事業の売上増や新規連結(SFW)で大幅増益。	<b>95</b>	<b>126</b>	<b>30</b>
	<b>21</b>	<b>22</b>	<b>1</b>
<b>計</b>	<b>699</b>	<b>752</b>	<b>53</b>

※ SFW: Sumitomo SHI FW

## 01

## 営業利益増減分析

単位：億円



## 01

## 連結貸借対照表

単位：億円

	2018/3末	2019/3末	増減		2018/3末	2019/3末	増減
<b>流動資産</b>	<b>5,516</b>	<b>5,836</b>	<b>320</b>	<b>負債</b>	<b>4,499</b>	<b>4,891</b>	<b>392</b>
現預金	882	736	△146	買掛債務	1,842	1,881	38
売上債権	2,694	2,916	222	前受金	425	526	100
たな卸資産	1,674	1,890	216	有利子負債	642	733	91
その他	265	294	28	その他	1,589	1,751	162
<b>固定資産</b>	<b>3,433</b>	<b>3,705</b>	<b>272</b>	<b>純資産</b>	<b>4,450</b>	<b>4,650</b>	<b>200</b>
有形固定資産	2,396	2,483	87	株主資本	3,694	4,047	353
無形固定資産	503	651	147	その他の包括利益 累計額	616	487	△129
投資その他の資産	533	571	38	非支配株主持分	140	115	△24
<b>合計</b>	<b>8,948</b>	<b>9,541</b>	<b>592</b>	<b>合計</b>	<b>8,948</b>	<b>9,541</b>	<b>592</b>
				ネット有利子負債比率	△2.7%	△0.3%	△2.4%
				自己資本比率	48.1%	47.5%	△0.7%

※ ラファート社連結による総資産の増加額 332億円

# 01 連結キャッシュフロー計算書

- 積極的な投資を加速。
- 売上増に伴う運転資本増で営業CFは悪化するもFCFはプラス。

単位：億円

区 分	2017	2018	増減
<b>営業活動</b>	<b>711</b>	<b>552</b>	<b>△159</b>
税金等調整前当期純利益	527	671	144
減価償却費	230	260	30
運転資本	51	△311	△362
その他（税金等）	△97	△68	29
<b>投資活動</b>	<b>△378</b>	<b>△550</b>	<b>△172</b>
<b>（フリーキャッシュ・フロー）</b>	<b>333</b>	<b>2</b>	<b>△331</b>
<b>財務活動</b>	<b>△101</b>	<b>△133</b>	<b>△32</b>
<b>現金・現金同等物増減</b>	<b>244</b>	<b>△157</b>	<b>△401</b>
現金・現金同等物期末残高	855	698	△157

単位：億円

	全社				油圧ショベル			
	2017年度通期 (17.4-18.3)		2018年度通期 (18.4-19.3)		2017年度通期 (17.4-18.3)		2018年度通期 (18.4-19.3)	
	売上高	(売上比率)	売上高	(売上比率)	売上高	(売上比率)	売上高	(売上比率)
北米	1,185	15.0%	1,390	15.4%	341	19.1%	448	21.9%
ヨーロッパ	709	9.0%	1,047	11.6%	117	6.6%	167	8.2%
アジア(除く 中国)	904	11.4%	979	10.8%	220	12.3%	187	9.2%
中国	804	10.2%	994	11.0%	373	20.9%	482	23.6%
その他	286	3.6%	324	3.6%	135	7.5%	148	7.3%
船舶海外	367	4.6%	390	4.3%				
日本	3,655	46.2%	3,905	43.3%	600	33.6%	611	29.8%
総売上高	7,910	100%	9,031	100%	1,787	100%	2,042	100%

※ 為替レート（ドル） 17年度：¥112 18年度：¥111

# 02

# 2019年度業績予想

# 02 2019年度業績予想

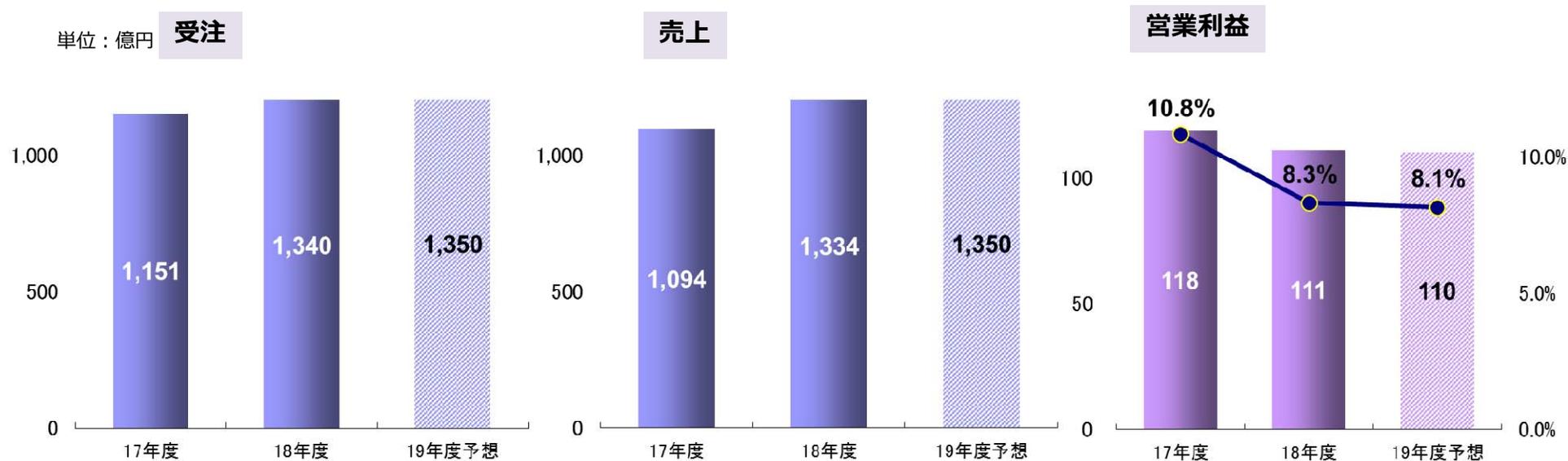
- 堅調な受注環境が継続し増収。 ■ 投資増、量産系市況悪化により営業減益。

単位：億円

	2017年度実績	2018年度実績	2019年度予想
受注高	8,640	9,522	9,300
売上高	7,910	9,031	9,050
営業利益	699	752	720
営業利益率	8.8%	8.3%	8.0%
経常利益	675	726	690
経常利益率	8.5%	8.0%	7.6%
特別損益	△148	△56	△10
親会社株主純利益	347	457	460
親会社株主純利益率	4.4%	5.1%	5.1%
1株当たり配当	85円 (株式併合考慮後)	112円	112円
配当性向	30.1%	30.1%	29.8%
ROIC(税引後)	10.3%	10.5%	9.2%
【参考】ROE	8.4%	10.3%	9.8%
織込レート(ドル)	¥112 (実績)	¥111 (実績)	¥110

## 02 機械コンポーネント

- 18年度：** 中小型の変減速機が好調であったことや、M&Aによりラファート社を連結子会社化したことにより、受注、売上ともに増加。ベトナムに減速機部品生産工場を開設する等積極的な投資を推進。
- 19年度：** 中小型の変減速機、ギヤボックスの市況は慎重に見ている。新商品開発、国内生産能力増強等の積極投資を推進する他、ラファート社との協業による成長を目指す。



## 02

## 精密機械

## ＜プラスチック加工機械＞

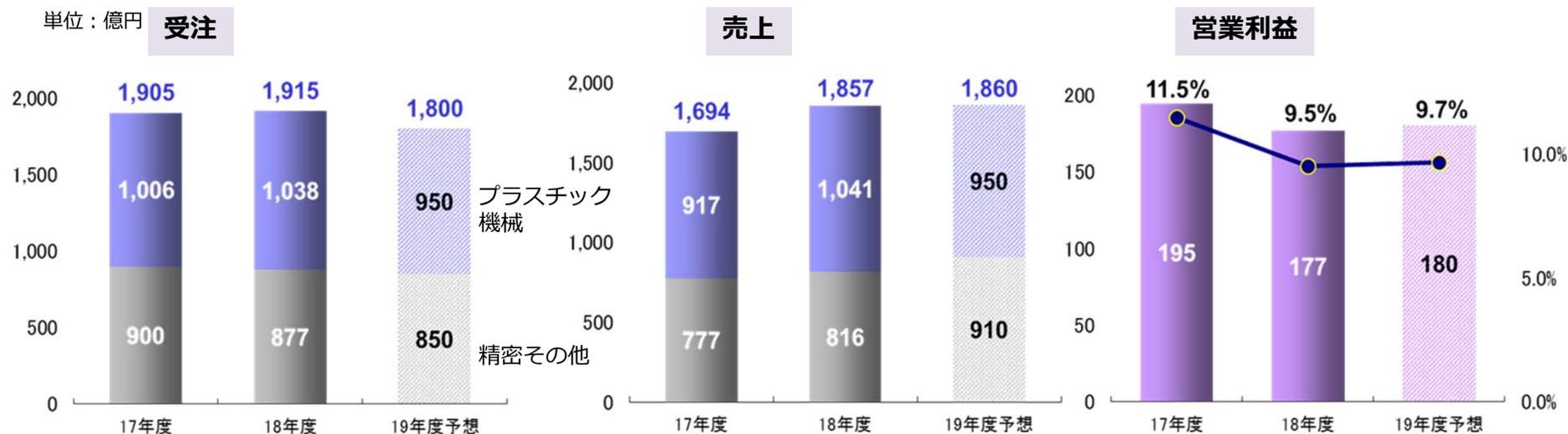
**18年度：** 中国での電気電子関連の高い需要が持続したことや、欧州での需要が堅調に推移したことから、受注、売上ともに増加。

**19年度：** 市況はやや弱含みで、中国の電気電子関連需要は平常化へ向かう見込み。新商品上市、国内の生産革新投資を積極的に進める。

## ＜精密その他＞

**18年度：** 半導体関連の一部機種が落ち込んだことから受注は減少したものの、前期からの受注残もあり、売上は増加。

**19年度：** 極低温冷凍機事業は引き続き堅調。半導体関連機種の需要は当面調整局面も、一部機種では下期から回復の見込み。



## 02

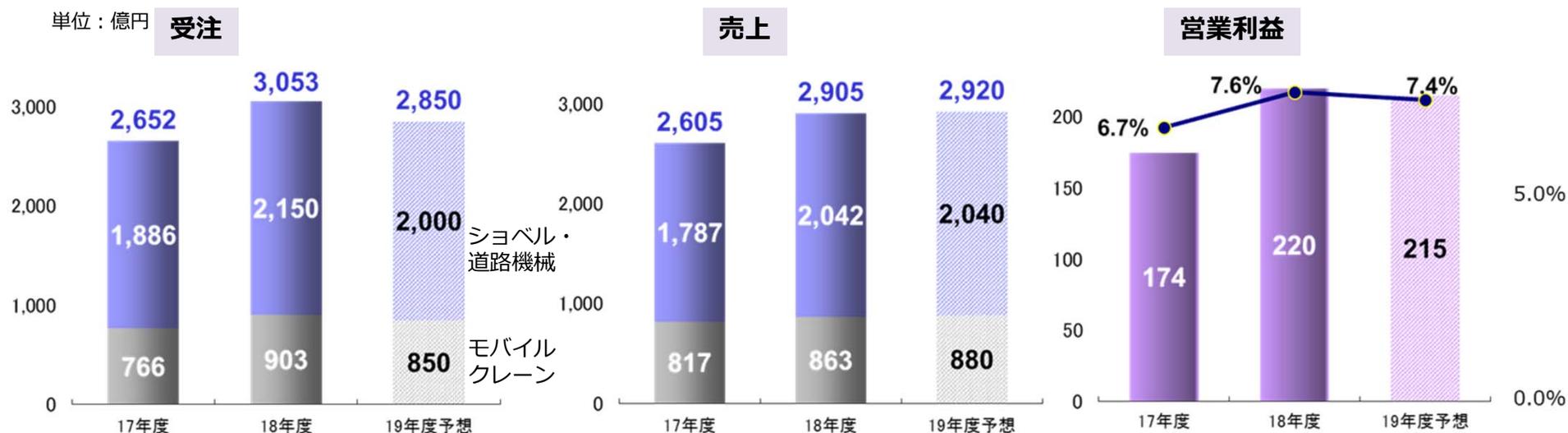
## 建設機械

## &lt;油圧ショベル&gt;

- 18年度：** 中国や北米等の海外向け需要が伸長したことから、受注、売上ともに増加。工場は、国内・中国・インドネシアともに高操業の状態が継続。
- 19年度：** 中国の需要はやや弱含みも、北米他海外や国内需要は堅調に推移する見込み。国内外の生産拠点の能力増強投資を含め、製品供給力の強化を目指す。

## &lt;建設用クレーン&gt;

- 18年度：** 北米市場が回復基調にあることや国内需要も堅調に推移したことなどから受注売上ともに増加。
- 19年度：** 国内市場は弱含みも、北米市場は堅調に推移する見込み。LBCとHSCの協業強化を進める。



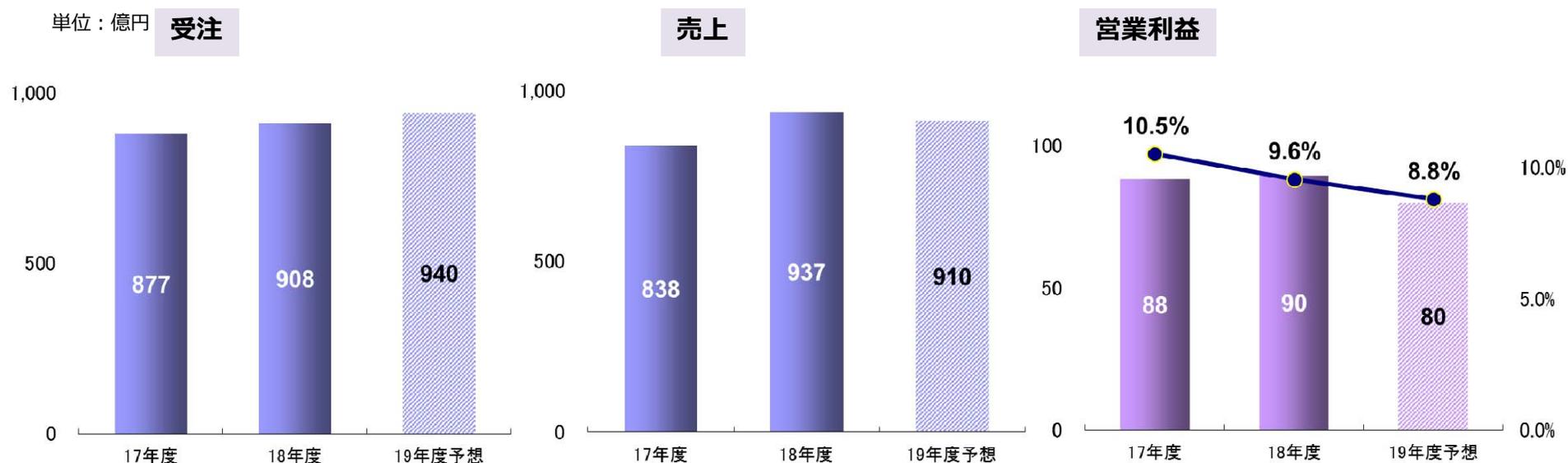
## 02

## 産業機械

- 18年度：** 運搬機械は、電力・鉄鋼向け需要が堅調であったことから受注、売上ともに増加。その他機種は産業用タービンの減少で受注減も、鍛造プレス等が増加したことから売上は増加。
- 19年度：** 運搬機械は電力・鉄鋼向け需要が引き続き堅調なことに加え、配送センター向け物流新製品（マジックラック）の拡販を狙う。その他機種の需要は概ね堅調の見込み。STAFの商品化、BNCTの医療機器化に向けて積極的な開発投資を推進。

※STAF：当社独自開発、自動車ボディ・フレームの新製造システム

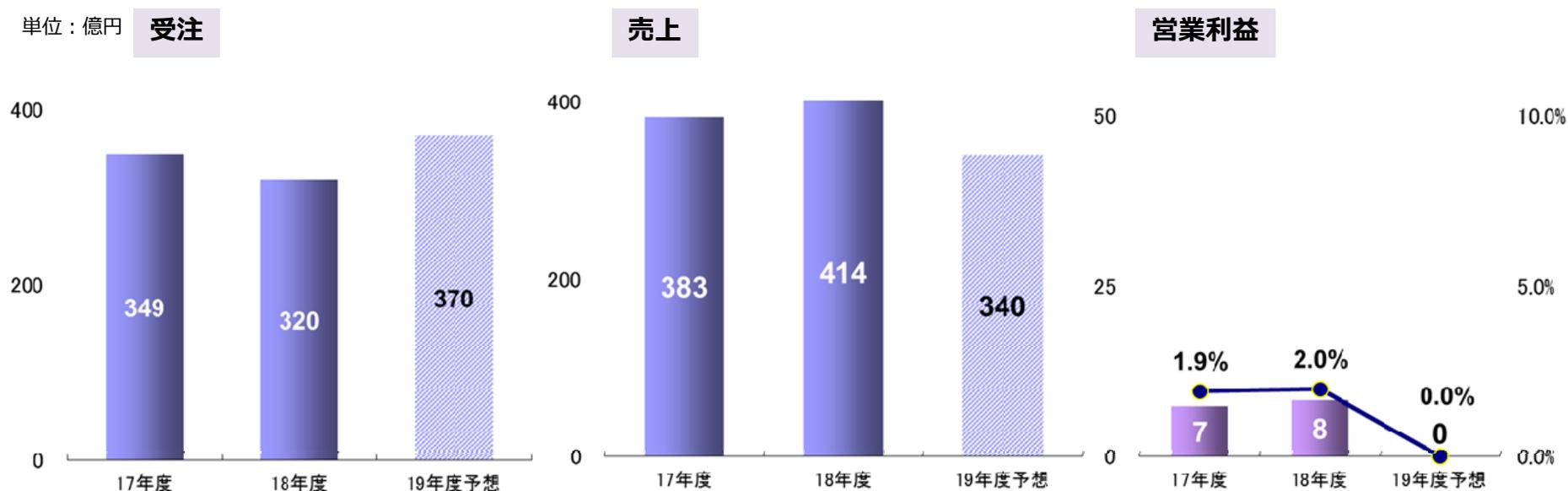
※BNCT：ホウ素中性子捕捉療法。次世代のがん治療装置



## 02

## 船舶

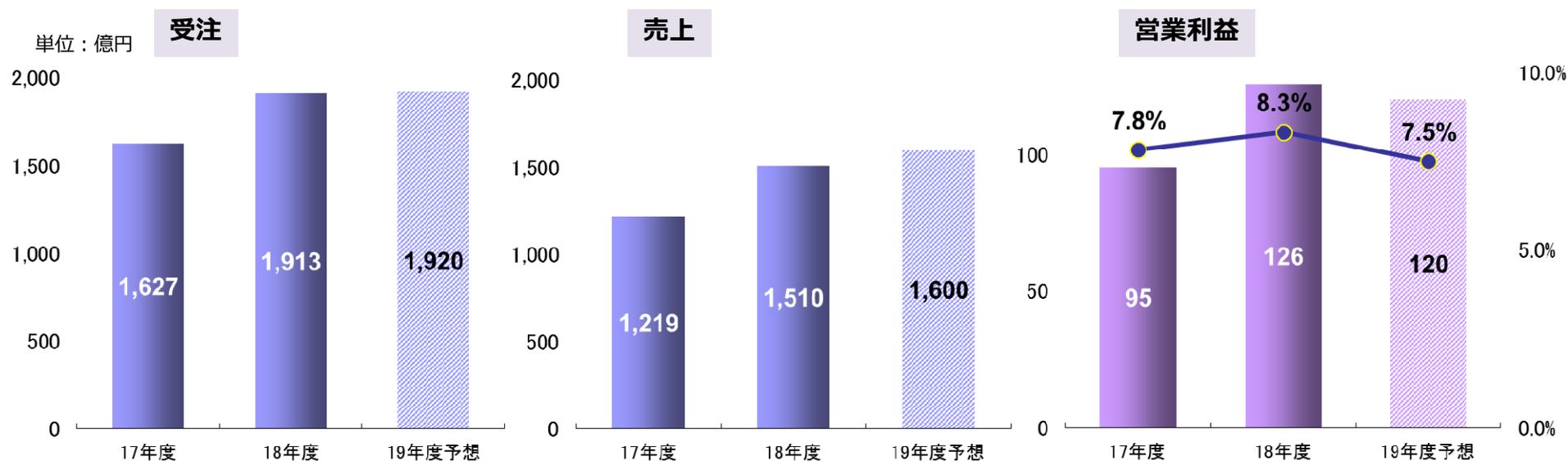
- 18年度：** 船舶市況は引き続き低迷。当期は前期より1隻少ない3隻の新造船を受注。売上は前期より1隻少ない4隻の引き渡しとなったものの、船舶修理案件が増え前年比増加。
- 19年度：** 船舶市況は低迷継続も徐々に回復に向かい、今期は4隻の受注を見込む。また、引渡しは4隻の予定。



## 02

## 環境・プラント

- 18年度：** エネルギープラント事業は、国内バイオマス発電設備の増加や前期に連結化したSFWの寄与もあり、受注、売上ともに増加。  
水処理プラント事業は、大規模排水処理設備案件や長期包括運営管理事業案件を受注したことなどから、受注、売上ともに増加。
- 19年度：** 全事業ともに市況は概ね堅調に推移する見込み。  
エネルギープラント事業では、中規模電力案件の獲得を目指す他、SFWとの協業で受注案件の獲得を目指す。



## 02

## 2019年度セグメント別業績予想まとめ

単位：億円

		2017年度 実績		2018年度 実績		2019年度 予想	
機械コンポーネント	受注高	1,151		1,342		1,350	
	売上高	1,094		1,334		1,350	
	営業利益(率)	118	10.8%	111	8.3%	110	8.1%
精密機械	受注高	1,905		1,916		1,800	
	売上高	1,694		1,857		1,860	
	営業利益(率)	195	11.5%	177	9.5%	180	9.7%
建設機械	受注高	2,652		3,053		2,850	
	売上高	2,605		2,905		2,920	
	営業利益(率)	174	6.7%	220	7.6%	215	7.4%
産業機械	受注高	877		908		940	
	売上高	838		937		910	
	営業利益(率)	88	10.5%	90	9.5%	80	8.8%
船舶	受注高	349		320		370	
	売上高	383		414		340	
	営業利益(率)	7	1.9%	8	2.0%	0	0.0%
環境・プラント	受注高	1,627		1,913		1,920	
	売上高	1,219		1,510		1,600	
	営業利益(率)	95	7.8%	126	8.3%	120	7.5%
その他	受注高	77		72		70	
	売上高	78		73		70	
	営業利益	21		22		15	
合計	受注高	8,640		9,523		9,300	
	売上高	7,910		9,030		9,050	
	営業利益(率)	699	8.8%	752	8.3%	720	8.0%

# 03

## 「中期経営計画2019」進捗

## 03

## 「中計19」進捗まとめ

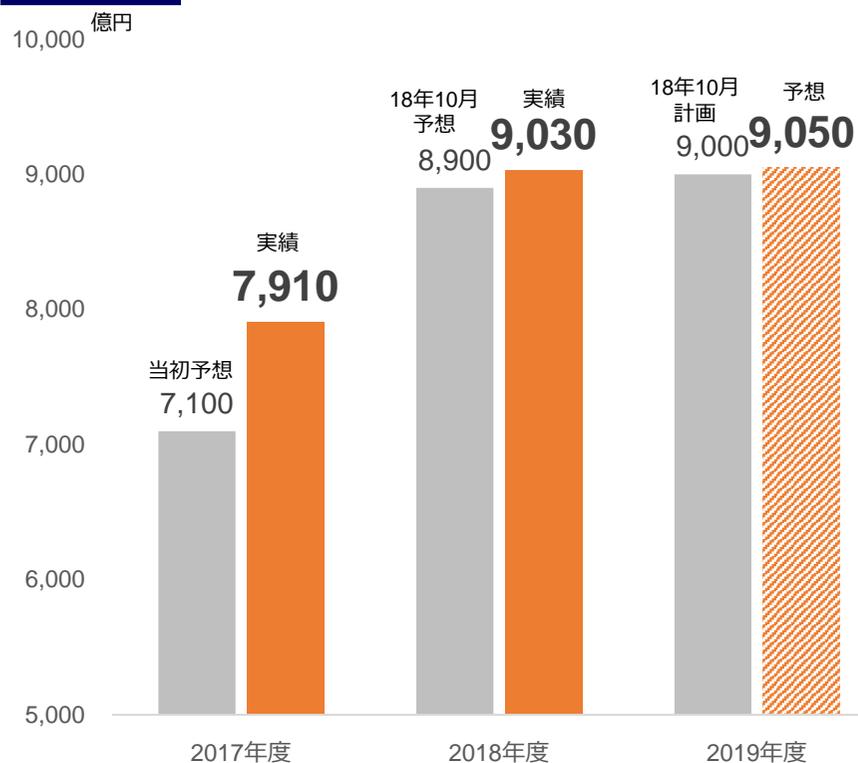
	「中計」19目標	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 予想
数 値 目 標	売上高：8,000億円（2019年度）	7,910億円	9,030億円	9,050億円
	営業利益率：7.5%（＂）	8.8% (699億円)	8.3% (752億円)	8.0% (720億円)
	ROIC：7.5%以上（＂）	10.3%	10.5%	9.2%
配当性向：30%レベル維持		30.1%	30.1%	30%レベル
設備投資：800億円(3カ年)		1,305億円（3カ年）		
		360億円	425億円	520億円
研究開発：520億円(3カ年)		579億円（3カ年）		
		167億円	186億円	226億円

## 03

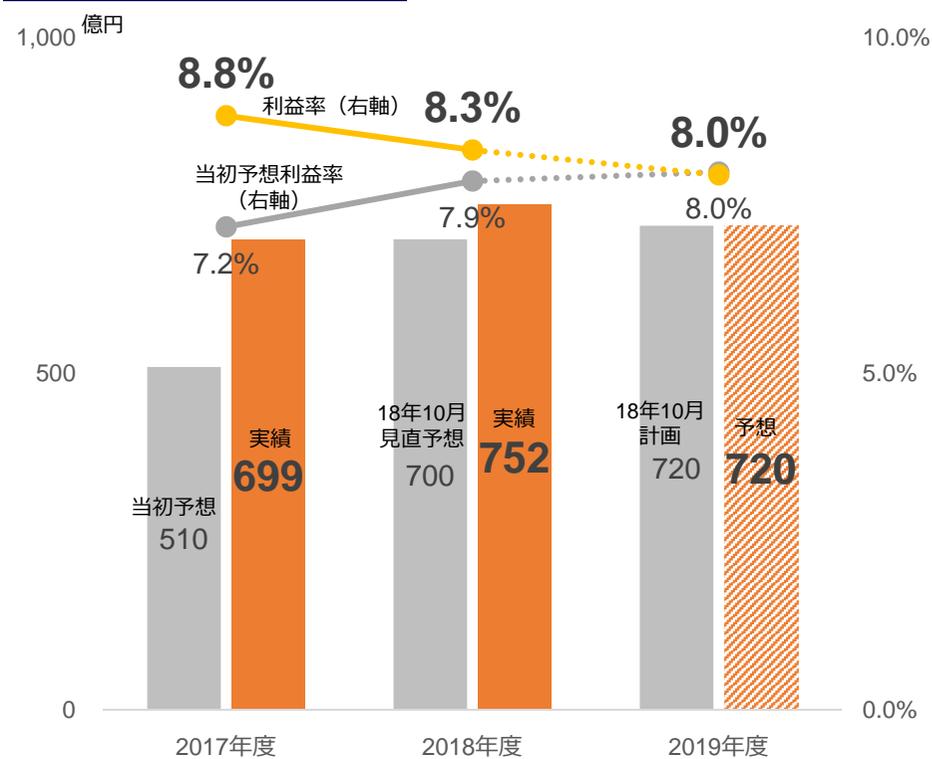
## 「中計19」進捗状況

- 世界的に概ね好調な環境にあり、18年10月に引き上げた中計目標を達成見込み

## 売上



## 営業利益&amp;利益率



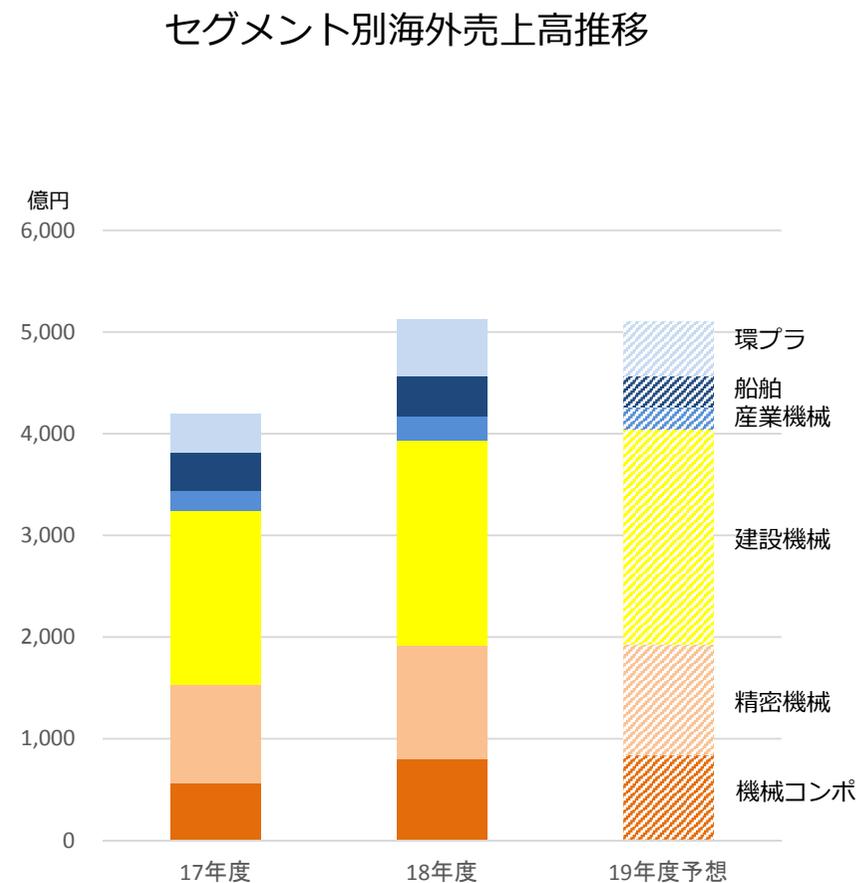
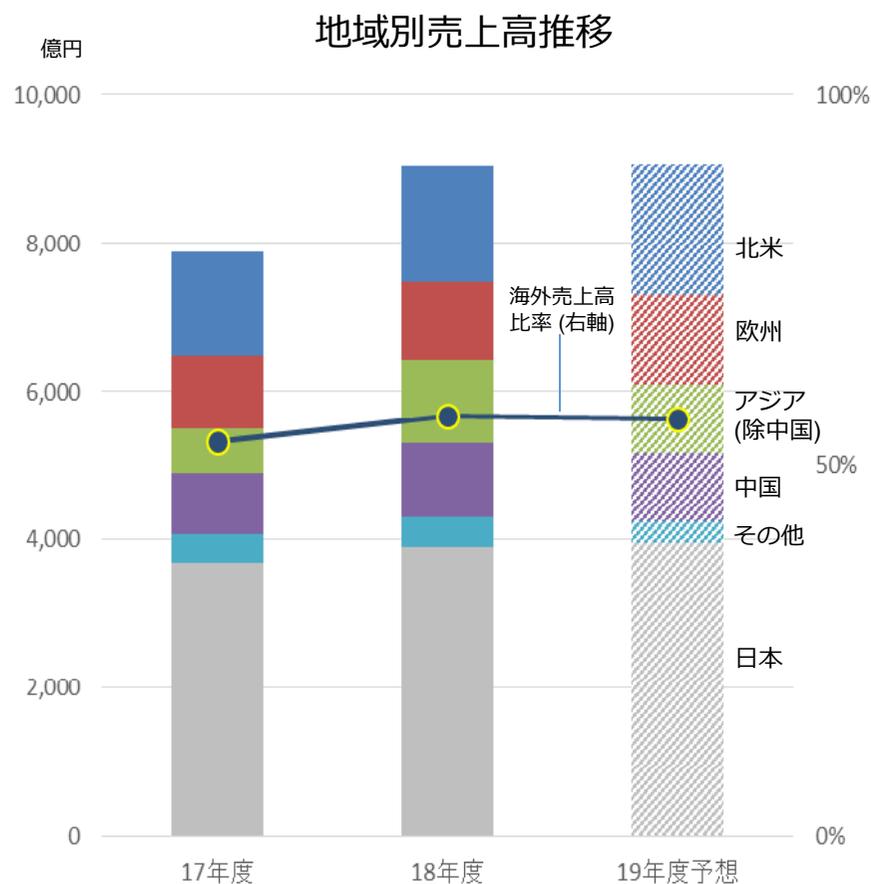
## 03

## 基本方針の進捗

基本方針	具体的展開
①「着実な成長」の実現	グローバルでの伸長(特に量産系) ..... 新商品開発・投入の加速
②「高収益企業体」への転換	各事業の役割に応じた投資(開発・設備・人材) 実行 ..... 自立化(営業利益5%以上)
③「たゆみなき業務品質改善」による一流の商品・サービスの創出	業務品質の飛躍的改善 ..... アフターマーケット・ビジネス強化 ..... システム技術(ICT、IoT)の積極的活用推進
④積極的な「M&Aおよび事業提携」等の実施	組織統合や連携を図り、積極的にM&Aや他社との事業提携・協業実施
⑤非財務目標の設定とCSRの積極推進	商品・サービスを通じた社会課題解決、製品品質向上、CSR調達推進、ダイバーシティ推進、環境(CO <sub>2</sub> 排出量削減)

## 03

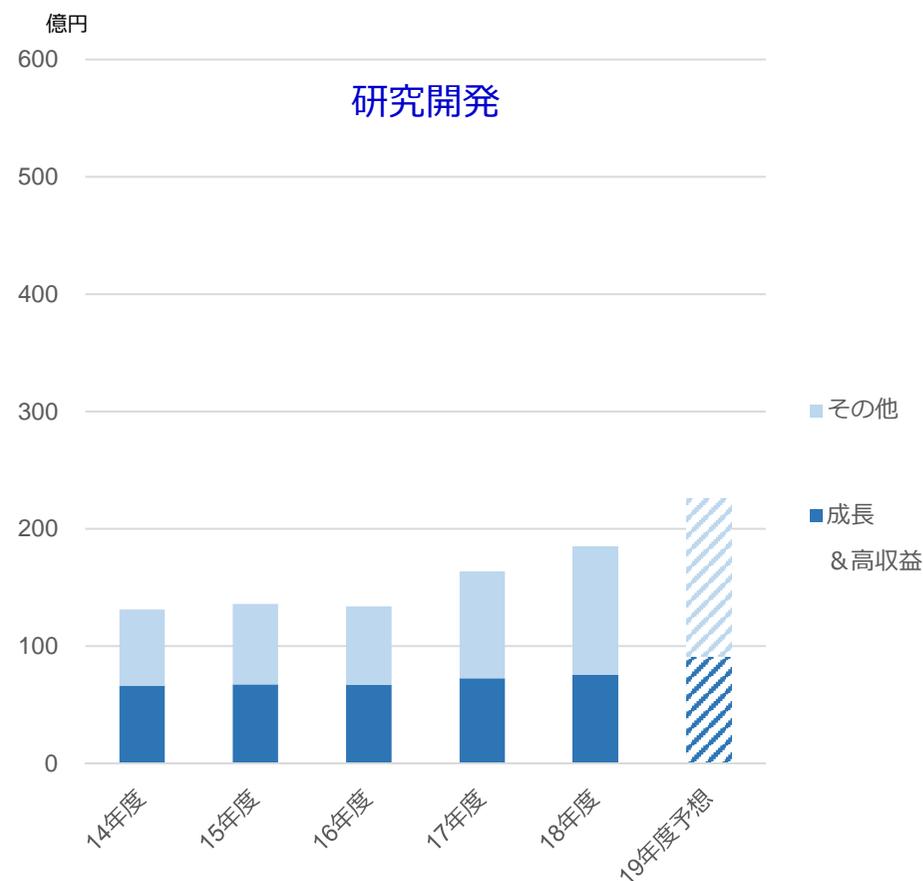
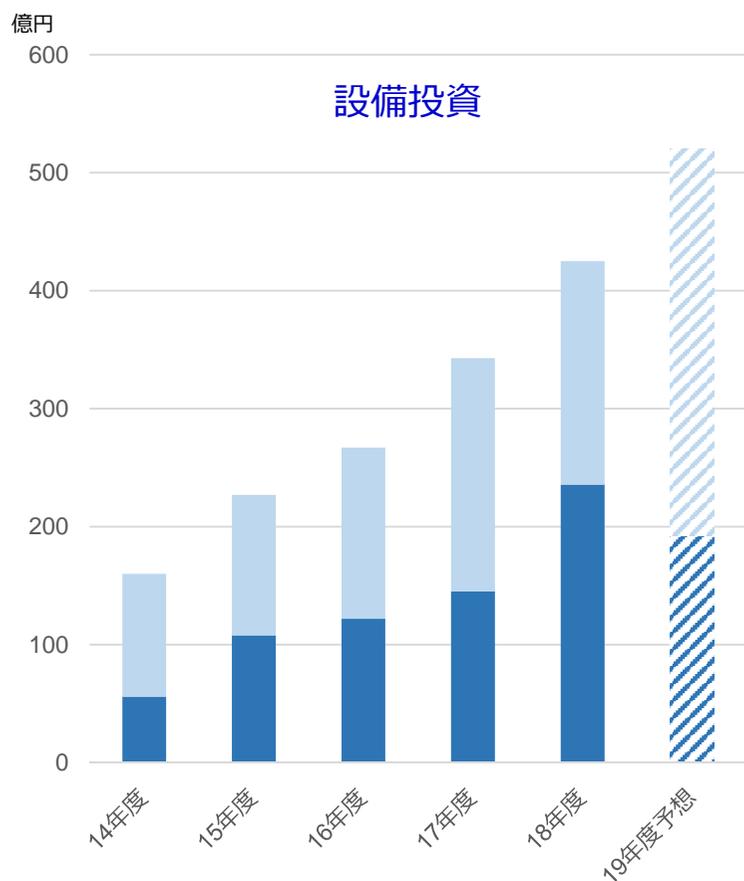
## 基本方針① 海外売上高推移



- ・ 量産機械系および環境・プラントで海外売上高が順調に増加
- ・ 地域別では北米・中国が牽引。その他の地域も堅調を見込む
- ・ 海外売上高は17年度、18年度と拡大基調。19年度も前年度同水準を見込む。

## 03 基本方針② 投資実施状況（設備・開発）

- ・設備投資は、変減速機や射出成形機などの成長が見込める分野に重点的に実施
- ・開発投資は、成長機種における新商品開発を行うほか、次世代の柱として期待が見込まれる医療・自動車・半導体関連分野にも継続実施



## 03

## 基本方針①&amp;② &lt;グローバルでの伸長／投資実行&gt;

ベトナムに減速機部品生産の第4工場を開設（2019年3月）

- ・ 産業用ロボットの関節に使用される精密制御用減速機の主要部品の加工・生産を行い、日本・中国・ドイツなど世界中の組立拠点へ供給
- ・ ベトナムを活用し、精密制御用減速機のグローバルサプライチェーンを強化することで、高い品質の製品を安定して提供できる生産体制の構築を目指す。

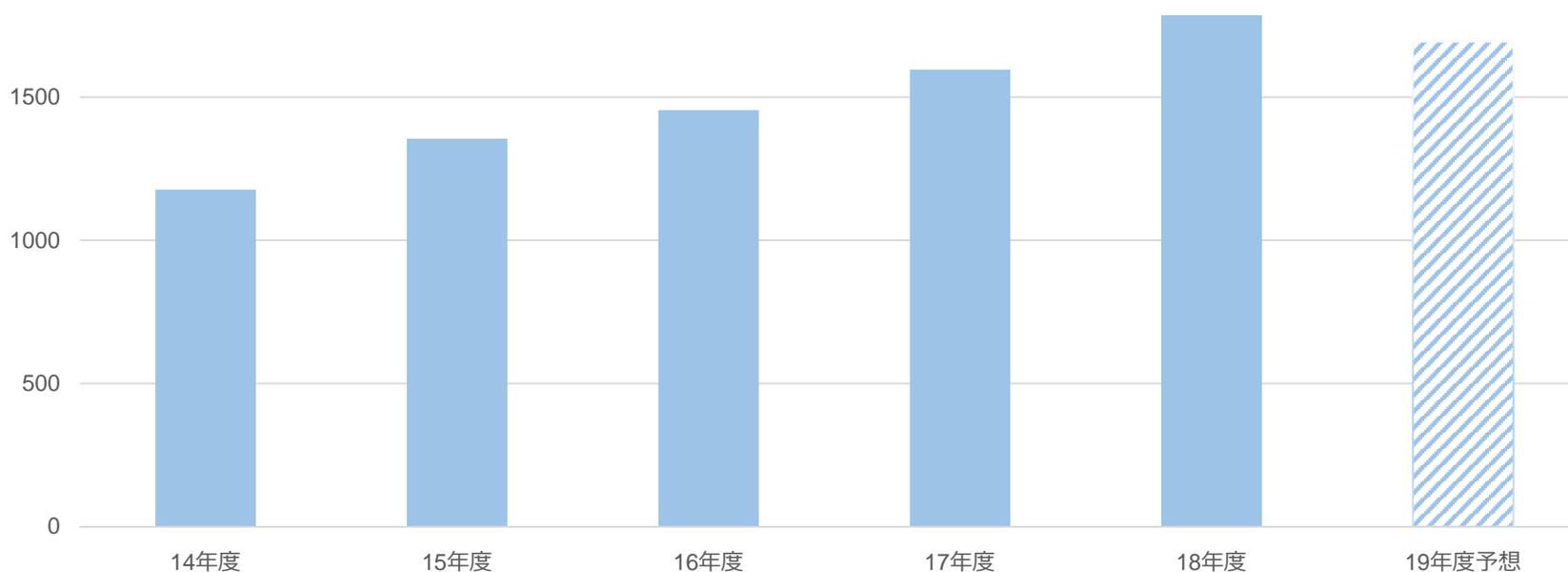


ベトナム 第4工場

## 03

## 基本方針③ アフターサービス売上高推移

億円



## &lt; 18年度実績 &gt;

- ・ S F W等の新規連結効果により前期比増加
- ・ 従来機種でも着実に増加

## &lt; 19年度 &gt; 各事業のアフターサービス強化策を継続実施予定

## 03

## 基本方針③ &lt;システム技術の積極的活用推進&gt;

## 射出成形機の生產品質管理システム「i-Connect」販売開始

- ・成形機と周辺機器・各種センサの情報を統合し、生産現場のIoTを構築するアプリケーション
- ・成形セル全体の監視・管理機能を向上させ、よりハイレベルでボードレスな効率生産を実現



## 03 基本方針④ <積極的なM & A>

### ■ イタリア・ラファート社の買収（2018年5月）

#### <目的>

- ・ P T C 事業における重点分野である「ロボット/位置決め」、「搬送物流」、「食品飲料機械」において、技術/市場の両面を牽引する欧州を起点として、事業を強化しプレゼンスを向上させる。
- ・ 高効率モータ、サーボモータ・ドライバに関する技術と生産拠点を獲得する。
- ・ 電機・制御分野への事業領域拡張の第一歩とする。



ラファート社本社

#### ■ ラファート社の製品群



IE2/IE3  
高効率モータ



サーボモータ



ダイレクトドライブ  
モータ

8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



## 03

## 基本方針④ 新規連結会社の状況

単位：億円

セグメント	新規連結会社	17年度実績		18年度実績	
		受注高	売上高	受注高	売上高
機械コンポ	ラファート社	—	—	145	164
精密機械	パーシモン・テクノロジーズ社	11	10	12	15
建設機械	住友重機械建機クレーン (HSC)	334	384	404	372
環境・ プラント	Sumitomo SHI FW (SFW)	196	253	298	445

※2017年度の連結期間： パーシモン・テクノロジーズ社は2Q以降（9カ月）  
SFWは3Q以降（6カ月）  
2018年度の連結期間： ラファート社は2Q以降（9カ月）

## 03

## 基本方針⑤ CSRの積極推進

	2018年度の実績	2019年度の課題
商品・サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>累計15部門と対話 CSR方針（キャッチコピー、指標）の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業部門との対話を総括し、 当社グループのマテリアリティづくりへ</li> </ul>
環境（E）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISO14001統一認証取得</li> <li>スコープ3（商品使用時）CO2排出量の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品使用時のCO2排出量の削減 （環境性能の向上）</li> <li>長期環境ビジョンの策定準備</li> </ul>
社会（S）	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSR調達ガイドライン説明会開催</li> <li>ダイバーシティ推進</li> <li>在宅勤務制度の試行終了</li> <li>健康管理マネジメントシステム開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調達説明会の継続（部門拡大）</li> <li>多様性をいかす組織づくり</li> <li>働き方改革の推進</li> <li>健康管理マネジメントシステムの運用</li> </ul>
ガバナンス（G）	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーポレートガバナンスコード改訂の対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社外取締役の増員の検討</li> </ul>
発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>統合報告書、非財務データの増加</li> <li>グループ報「かるテット」CSR特集の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>統合報告書の価値創造ストーリー</li> <li>ESGアナリスト・投資家との対話の増加</li> </ul>

## 03

## 基本方針③ 業務品質改善のための再発防止策

関係各位に多大なるご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、再発防止策を確実に実施し全力で信頼回復に取り組んでまいります。

また、再発防止策実施の進捗は定期的に取り締役会に報告し、取締役会の監督の下で着実に実行してまいります。

1. 住友の事業精神と経営理念の再確認と再徹底
2. トップおよび経営幹部による業務品質改善、コンプライアンス最優先の経営方針の徹底についてのリーダーシップ発揮
3. 品質管理プロセスの強化
4. 業務品質の本社ガバナンス体制の強化
5. 当社としてのサービスに関する品質確保に向けた体制・取り組みの検討
6. バランスの取れた事業運営・組織運営の推進
7. コンプライアンス推進強化
8. 当社グループにおけるリスク管理の推進



# 住友重機械工業株式会社

将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。